地方バス運行対策補助金について

問　県は制度改正を考えているが、市の対応はどうなるか。

企画部次長　県の補助制度の一部改正があり、本年10月からの施行となる。市の財政負担は拡大の一方であり、早急な交通システムの再構築に迫られている。

問　路線バス通学生への影響はないか。

教育長　路線バス通学生は、三角中86人、三角小89人、青海小56人で、三角町の31％が利用している。スクールバスの利用も視野に入れ、通学方法を検討する必要がある。

道路網整備について

問　中心部から周辺部を結ぶ道路網整備はどうなっているのか。

土木部長　快適な幹線道路網の整備、生活の利便性を確保する道路環境の整備という目標に向かって積極的に取り組んでいく。

福田 良二　議員

町村合併に伴う新しい宇城作りの公約について

問　市長は、公約として5つのキーワードの中に、12の施策を打ち出されているが、その中でも一番深く難しい農林水産業の復権を課題として謳っている。今後どの様に進めていくのか。

市長　本来宇城市は、200億円の生産額を持つ地域だが、現状は120億円位であると思っている。その中で、宇城市には日本全国に誇るデコポンがあるが、これは生産者が必死に取り組んだ結果である。また、戸馳には、ゼロからスタートして今や年商10億円を超える五蘭塾の団地があるが、双方とも素晴らしいリーダーがいたと思う。今後は、市場原理の中で勝ち抜くには新品種を改良し、宇城市オリジナルを持つことが他の産地をリードする道ではないかと思う。このような息吹の活性化にはリーダーがおり、まとめて販売につなげる団地作りが活路であり、したがって今後は、リーダーをいかに育てるかがキーワードであると思う。

道路危険箇所改修について

問　市長は、道路行政については、生活道路や交通網の充実を図ることが宇城市発展の基本施策の一つであると言っている。事業主体は県であるが、主要地方道小川嘉島線の危険箇所改修の取り組みについて伺いたい。この小川嘉島線は、海東地区と豊野及び小川地区の3つの生活圏を結ぶ地域の動脈であり、現状は、朝夕のラッシュ時にもスピードオーバーの車をよく見かけるが、小川地区は狭く曲がりくねって危険であり、海東にさかのぼって行くと、全域車道のみで歩道の設置がされていない。ここを通学路としているのが海東の子供達である。そのため、40ｋｍの速度規制が敷かれており、迅速な交通運搬の手段としても、その機能を十分に果たすことができない。主要地方道とは名ばかりの道路である。歩道設置と車道拡幅を早急に県に訴え、安心安全な道路の実現を図ってもらいたい。これに代わる市道もないので、市長には、県に対する要望を直接的に働きかけてもらいたい。

土木部長　小川地区の改良は、延長260ｍ、3億円の予算で、完成まで4年の予定であり、蓮仏から海東までの延長2000ｍの歩道設置は、平成19年度からの事業として採択してもらう旨の要望書を県に出し、今月8日にヒアリングがあった。今後も引き続き要望を続けていきたい。

市長　どの路線も大事な生活路線として、県との交渉は期成会を中心に、あるいは市と県の政策協議としても提案し詰めている。小川嘉島線についても、詰めて具体化したいが、県も財政上の問題もありシビアだが、粘り強くやっていきたい。

231回熊本県市議会議長会

宇城市に新幹線新駅設置を求める要望書を議決

平成18年10月5日、ホワイトパレスにおいて、第231回熊本県市議会議長会が開催され、県内の14市の議長及び事務局長が出席した。

第231回熊本県市議会議長会

「道路特定財源の確保について」及び「中九州地域の交通網の整備推進について」の2議案を満場一致で可決した。

要望の主な内容は、「道路特定財源の確保」については、「道路特定財源の制度を確保すること」、「交通網の整備推進」では、「九州新幹線待避駅として、宇城市に新駅を設置すること」である。

平成18年度小・中学生による子ども議会

8月8日、第1回子ども議会が開催された。

市内の小中学校から選ばれた30人の子ども議員が、5グループに分かれて市長に対して質問した。

この取り組みは、市の現状等について質問することにより、市についての理解を深めるとともに、市の取り組みや構想を知り、宇城市民としての意識を高めるために行われた。

阿曽田市長の施政方針演説の後、身近にある問題を取り上げてグループごとに質問した。

閉会にあたり、子ども議会の議長を務めた松橋中3年の高木彩加さんは、「市政を進めていく上で、多くの人たちの意見を取り入れることは大切であり、これは生徒会活動でも同じことが言えると思う。この経験を、今後の生徒会活動に少しでも活かしていきたい。」とお礼の言葉を述べた。

各グループの質問は次のとおりである。

三角班

（荒木裕大、園田智幸、橋本侑季、松岡利哉、天川怜美）

●交通安全について、どのような対策をとるのか。また、市民に対して、どのように呼びかけ、事故発生ワーストーの汚名をすすぐのか。

●宇城市の観光及び特産物・加工品を今後どのように考えているのか。また、そのことによる経済効果をどのように見込んでいるのか。

不知火班

（寺本有花、渡辺睦人、中川優妃菜、中川裕仁、松川　雅）

●今、宇城市では、小中学校で英会話の学習をし、中学校で中国語を選択教科としている。宇城市では、英語や中国語を話す都市と姉妹都市を結ぼうという計画はあるか。

●宇城市には、高速道路のインターチェンジ、ＪＲの駅などがあり、新幹線の駅ができれば、ますます交通の便がよくなる。たくさんの観光客に来てもらうために、観光産業などを誘致する計画はあるか。

松橋班

（三好光也、川本佳右、平塚景将、寺田　圓、澤田明純、栗原海王、島松香瑠）

●以前病院に行ったとき、診察場所と薬局が離れていて大変であった。他にも、お年寄りの人がいらっしゃったが、体の不自由な人等の移動が楽なように、同じ建物に薬局があればいいと思ったが、市民病院として患者のために工夫していること、改善予定について教えてもらいたい。

●宇城市でのアスベスト対策や被害を受けた人への対応はどうなっているか。また、これから先、このような被害にあったときはどうすればいいのか。

小川班

（福田将史、森下翔平、緒方　仁、杉本涼介、米村和也、福永健太、坂田暁理）

●宇城市や教育委員会が主催する行事のときも、施設の使用料をとっているのか。また、社会体育で体育館を使用した際、ゴミがよく落ちているが、後片付けをするよう指導できないか。

●宇城市でどれくらいの不法投棄があるか。その防止のためにどのような対策をとっているか。

豊野班

（山岡祥悟、谷川昴平、岩村さくら、松下　豊）

●6・7月の大雨で数件の土砂災害が発生した。今後、同様の災害が発生しないために、危険箇所の把握を詳細に行い、災害防止に努めてもらいたい。また、災害防止のためには、情報提供を充実させることも必要だと思うが、現状と今後の取り組みについてどう考えているか。

市議会を傍聴しませんか？

次の定例会は、12月開会予定です。
日程などの詳細は、議会事務局（32-1111）までお問い合わせてください。